

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	沼津検察審査協会補助金				2 担当課名	総務管財課		
3 予算科目	款	2	項	1	目	1	事業コード	0201
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
5 根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市検察審査協会補助金交付要綱				
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助		
8 交付先分類	c特定団体(その他)							
9 交付先	沼津検察審査協会							
10 補助金の目的	検察審査会制度の普及啓発に努める検察審査協会の資質向上及び検察審査協会の円滑な運営を図るため。							
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	検察審査会制度の普及							
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	<ul style="list-style-type: none"> ・協会の資質向上のための研修、講習 ・検察審査会制度の普及及び啓発 							
13 積算根拠の有無	有							
14 積算の考え方 計算式	裾野市世帯数21,226戸 × 3円 =63,678 ÷ 63,000円							
15 補助対象経費の設定の有無	無							
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目								
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体	1	1						
人数	98	98						
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	63	63	63					
合計	63	63	63					
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金助成金	市	1,116	1,105					
	その他	0	0					
事業収入	0	0						
会費	153	140						
繰越金	158	99						
その他	0	0						
合計	1,427	1,344						
市の補助金の割合	78%	82%						

補助金名称	沼津検察審査協会補助金	担当課名	総務管財課
-------	-------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	H22	年度
3内容	補助対象の内容(補助金の使途等)				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	△	
③広く市民生活の向上に貢献するか	×	通常の市民生活において制度が密接に関わるものでないため。
④市民ニーズが高い事業か	×	同左
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	×	上部組織があるため、積極的に市が関与する必要性はないと思われる。
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	×	毎年繰越金があるため。
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	△	負担金の方が最適と思われる。
⑧最適な補助対象か	×	裾野地区の支部があるのに本部に支払っているため。
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	×	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	×	同左
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	算定金額の比較対象がないため不明。

補助金名称	沼津検察審査協会補助金	担当課名	総務管財課
-------	-------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	制度が継続する限り続けるものであるため。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	×	弔意金を含んでいるため。
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	△	毎年繰越金が発生しているから。
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	△	概算払いのため前年度の履行確認のみである。

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	検察審査会制度の普及
2達成状況	

3補助効果の評価	c効果が疑問である
4評価の理由	活動の成果が不明なため。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	金額の精査
		見直しの時期	今年度中
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	納税推進協議会補助金				2 担当課名	管理納税課				
3 予算科目	款	2	項	2	目	2	事業コード	0244		
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	H12	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市納税推進協議会補助金交付要綱								
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	a運営費補助				
8 交付先分類	b特定団体(市事務局)									
9 交付先	裾野市納税推進協議会									
10 補助金の目的	協議会が行う納税思想の普及及び啓発									
11 補助金により期待される効果・目標(アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	納税思想の普及および啓発									
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	小・中学生税に関する作品, 沼駿地区納税貯蓄組合連合会負担金, 青年部・婦人部研修費等									
13 積算根拠の有無	無									
14 積算の考え方 計算式	裾野市納税推進協議会補助金交付要綱									
15 補助対象経費の設定の有無	有									
16 補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	○	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目	小・中学生税に関する作品参加賞, 沼駿地区納税貯蓄組合連合会負担金, 青年部・婦人部研修費等									
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体	1	1	平成28年度 8人							
人数	21	20								
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	26 年度	27 年度	28 年度		補足					
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	450	356	450							
合計	450	356	450							
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金 助成金	市	450	356							
	その他	0	0							
事業収入	19	21								
会費	0	0								
繰越金	157	111								
その他	0	0								
合計	626	488								
市の補助金の割合	72%	73%								

補助金名称	納税推進協議会補助金	担当課名	管理納税課
-------	------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H23	年度
3内容	5%カット。但し、会の予算不足によりその後復活。				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	納税推進協議会補助金	担当課名	管理納税課
-------	------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	裾野市民の納税思想の普及及び啓発を継続的に行なっているため
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	補助金率の上限を設定していないため
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	納税思想の普及および啓発
2達成状況	納期内納付や納税相談

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	市税徴収率等

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	納税思想の普及および啓発	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			